

令和6年度 6学年 教育プラン

学校教育目標

心豊かで 自ら学び たくましく生きる子供の育成

めざす子供像

学び合う子供

<育てたい資質・能力>

- 学び合うことが楽しいと感じ、学び続けようとする
- 人・こと・ものとの関わりを通して考え、ICTを活用したり、友達と話し合ったりしながら課題解決しようとする
- 家庭や地域での生活や他者と結び付けて学習を生かそうとする

思いやりのある子供

- 自他の良さを理解し、そのよさを生かしながら行動しようとする
- 相手の気持ちを理解しようと努め、相手の考えを尊重しながらコミュニケーションを取ろうとする
- 友達と協力・協働しながら、皆のために役立とうとする

心身ともに健康でたくましい子供

- 約束やルールを理解し、自分なりに考え、行動しようとする
- 健康・安全について考え、よりよい生活をめざそうとする
- 学習活動・行事などに主体的に取り組み、最後までやり通す姿を見せる

6学年 重点的な取組

- ①ICT等を活用しながら、意見の交流を行うことで、多様な考えに触れ、学び合うことの良さを感じさせる。
- ②総合的な学習の時間で、体験活動（修学旅行、スチューデントシティ、見学、ゲストティーチャー等）を重視する。
- ③各教科等で、日常場面との関連を図る。学習を振り返る際には、友達の考えから学んだことを視点とするように促す。

6学年 重点的な取組

- ①振り返りや相互評価等の活動を通して、自他の良さや成長に気付く機会を設ける。
- ②特別な教科 道徳（B主に人との関わり）を基盤として、自分と異なる意見や立場を尊重する心情や態度、判断力を育てる。
- ③1年生との交流や学校行事での準備等の機会を通して、友達と協力したり、下学年や学校のために貢献したりすることの心地よさを感じさせる。

6学年 重点的な取組

- ①社会科で学習する「基本的人権の尊重」を基に、皆が気持ちよく生活するために約束やルールが必要であることを理解させる。
- ②外遊びを勧め、体育の授業を工夫するとともに、体育発表会や陸上記録会などの行事を通して、体力の向上を図る。
- ③学習や行事等の活動のねらいを考えさせたり、教師と確認させたりしながら、最後まで目的意識を持ち続け、達成できた喜びを感じさせる。（◎）

学年目標

史上最高 ～史上最高の自分・史上最高の仲間・史上最高の学校へ～

協働型学校評価の重点目標【目標を持ち、挑戦する子供の育成】

体験活動とICTを効果的に使った学習

人との関わりを積極的に取り入れた活動

粘り強く最後までやり通す場面の設定と評価